

あいのり

Monthly

2026.5.29

5月のマーケット概要

5月のマーケットは、中東情勢の長期化、消費者センチメントの悪化、長期金利の上昇などの懸念材料を横目で見ながらも、株式市場はAI設備投資による米企業の業績加速、さらにはスペースXをはじめとする大型IPOへの期待が株価を支え、全体的にはAI関連銘柄が牽引する期待と実績を伴ったリスクオン相場となりました。

米国とイランは一時停戦延長をしながらも、停戦と戦闘再開の瀬戸際が続いています。原油価格は100ドルを挟んで推移していましたが、合意が近いとの観測から80ドル台へ下落した一方、米国内のガソリン価格は1ガロン4ドル以上で継続推移しています。

経済指標では、米国雇用はAIの浸透により情報通信、金融関連が落ち込む一方で教育・ヘルスケアなどが牽引し内容としては強くないものの、底堅くなってきています。インフレ指標については、ガソリン価格の上昇により、先行き期待も大きく上昇し、今後のFRBの次の一手は利下げよりも利上げの確率の方が高くなっています。米企業の四半期決算の発表が多くありましたが、発表された第一四半期の前年対比利益成長率が+28%と強い伸びを示し加速しています。

日本については、海外投資家からの資金流入が続くなか、日経平均は過去最高値圏で推移しました。米国のAI関連銘柄の上昇を受け、半導体やテック銘柄を中心とした日経平均が、バリュー株を含め平準化されているTOPIXに対して大きくアウトパフォームしていることから特定業種・銘柄に集中しているのが分かります。

為替市場では、4月末から5月にかけて日本当局が累計11兆円超規模のドル売り・円買い介入を実施し、円安の流れにブレーキをかけつつも、足元では依然として円安水準が続いています。

今後のリスクは引き続きホルムズ海峡封鎖が長引くことによるインフレの更なる加速、金利の高止まり、株式市場の集中度合の高まり、割高感など懸念材料はあります。また6月はスペースXのIPOが12日、新FRB議長の初のFOMCが6月17日にあることから、その前後では一時的な調整の可能性があります。好調な企業業績とその後のオープンAIやアンソピックなどの大型IPO期待から、設備投資意欲が衰えない限り、大きな調整はまだ先ではないかと考えています。

弊社のファンドは、3月末以降、リスクポジションをとりながら大きく入れ替えを行いました。主に新規の日本株ファンドとナスダック100のETFなどを中心に割合を大きく増加し、一方ゴールド関連を中心に減らしました。引き続きファンダメンタルとマーケットの流れを注視の上、対応していきたいと考えます。



左記のQRコードよりXアカウントにアクセスいただけます。
パリミキアセットマネジメント【公式】
@PM_Asset

(2026年6月1日)

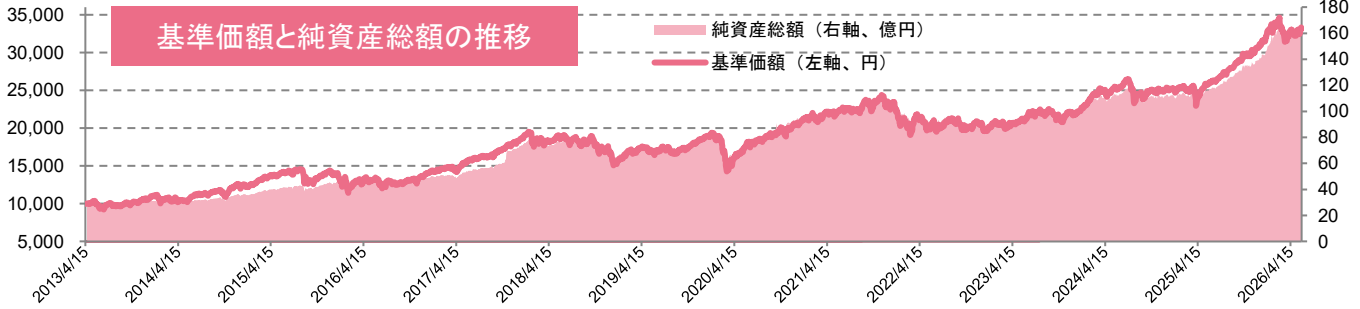
パリミキアセットマネジメント
取締役チーフインベストメントオフィサー
宇野 隆一郎



PARIS MIKI ASSET MANAGEMENT

コードモファンド
変幻自在ずーっとおまかせ

基準価額と純資産総額の推移



期間別騰落率(%)

1ヵ月	3ヶ月	6ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年	設定来
2.31%	-3.28%	8.69%	5.47%	27.32%	57.22%	48.96%	148.00%	232.00%
					(複利年率) (16.30%)	(複利年率) (8.30%)	(複利年率) (9.51%)	(複利年率) (9.57%)

コードモファンド概況

基準価額	33,200円	設定日	2013年4月15日
純資産総額	16,634百万円	信託期間	無期限
ボラティリティ(1年)	8.75%	決算日	毎年2月25日 (休業日の場合は翌営業日)
投資信託財産の構成比率	パリミキ・ファミリーオフィス・マザーファンド: 99.99% 現金等: 0.01% (合計: 100.00%)		

コードモファンドにかかわる費用

運用管理費用 (信託報酬)	年1.10%(税抜1.00%) マザーファンドの組入れ投資信託証券も含めた実質的な負担: 年1.75±0.5%程度(税込)
------------------	--

パリミキ・ファミリーオフィス・マザーファンド

※2025年9月1日設定

【5月の運用コメント】

基準価額は月間で+2.40%となり、年初来で+5.95%となりました。

(1年リターン: 27.32%、ボラティリティ(1年): 8.75%、シャープレシオ: 3.04) ※コードモファンド

個別ファンドの騰落率については、上昇に寄与したのは、ポリマー日本株式が騰落率で+7.93%、日本株バリューのモーラントが同+4.04%、ナスダック100関連ETFが同10.85%、グローバル株式のトリニティ・ストリートが同+6.80%などでした。下落で影響したのは、ピクテ・ゴールドが騰落率▲2.61%、エネルギーETFが同▲4.13%などでした。

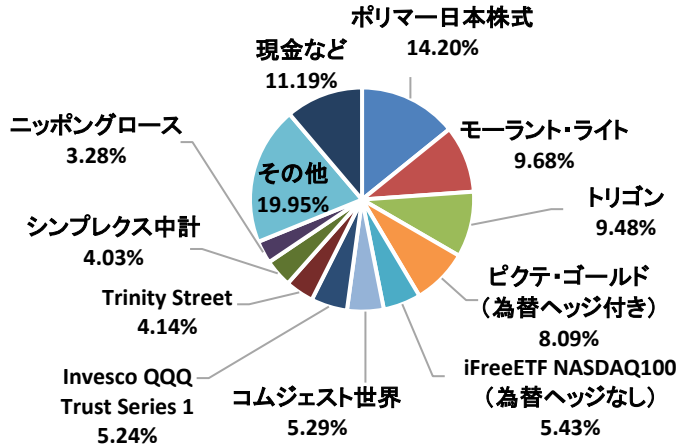
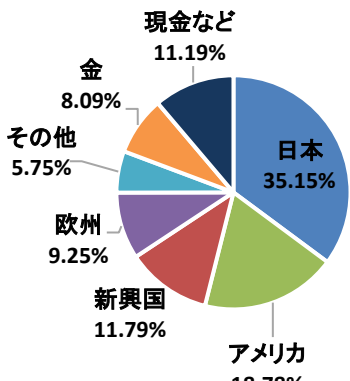
5月の売買は、ポリマー日本株式、東欧株式ファンドのトリゴン、その他ナスダック100関連ETFを追加購入しました。一方、米公共株、ブラジル、日本高配当株のETFを全売却しました。これによりキャッシュ比率は11.19%(前月比▲3.54%)となりました。

為替が、対ドルで約1円(▲0.62%)、対ユーロでは約2円(▲0.91%)円高へ推移したことにより、ポートフォリオのパフォーマンスをヘッジ後で0.29%引き下げたこととなります。現状の外貨資産リスク(43%)に対する為替ヘッジ率は、5%で、全体のポートフォリオの内、ヘッジ後の外貨リスクは41%です。

パリミキ・ファミリーオフィス・マザーファンドの概況

純資産総額	16,881百万円	組入ファンド数	全21本
-------	-----------	---------	------

資産構成比率(左:国別、右:ファンド別)



組み入れファンドTOP5 基準価額の前月比	
ポリマー日本株式	7.93%
モーラント・ライト	4.04%
トリゴン	1.10%
ピクテ・ゴールド (為替ヘッジ付き)	-2.61%
iFreeETF NASDAQ100 (為替ヘッジなし)	10.85%

【5月の運用コメント】

基準価額は月間で+2.88%上昇し、年初来では+5.17%となりました。

(1年リターン：24.01%、ボラティリティ（1年）：10.27%、シャープレシオ：2.27)

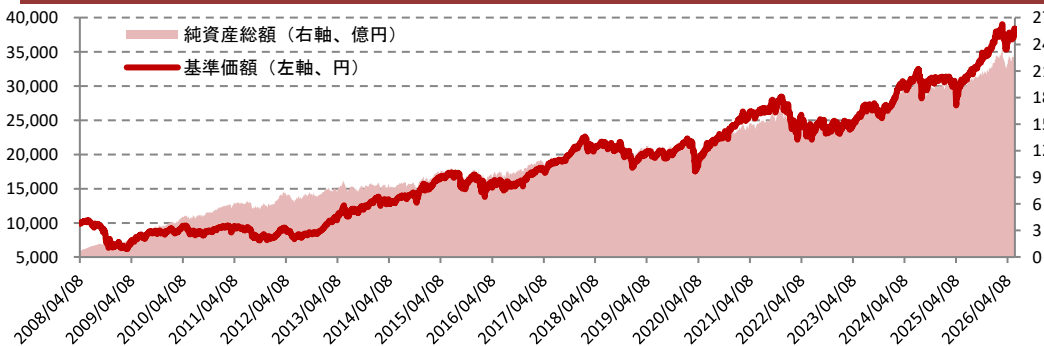
個別ファンドの騰落率については、上昇寄与したファンドは、ポリマー日本株式が騰落率で+7.93%、日本株式のシンプレクス中計が同+3.12%、新興国株式のコムジェスト・エマージングが同+10.50%、ナスダック100関連ETFが+10.85%などでした。下落の影響があったのは金鉱株式のコンウェブ・ゴールドが騰落率で▲2.22%などでした。

5月中の売買は、ポリマー日本株式、その他ナスダック100関連ETFなどを追加購入しました。一方、米公共株、ブラジル、日本高配当株のETFを全売却しました。これによりキャッシュ比率は7.20%（前月比▲5.65%）となりました。

為替が、対ドルで約1円（▲0.62%）、対ユーロでは約2円（▲0.91%）円高へ推移したことにより、ポートフォリオのパフォーマンスをヘッジ後で0.34%引き下げたこととなります。現状の外貨資産リスク（51%）に対する為替ヘッジ率は8%で、ヘッジ後の外貨リスクは47%です。

基準価額と純資産総額の推移

組み入れファンドTOP5
基準価額の前月比

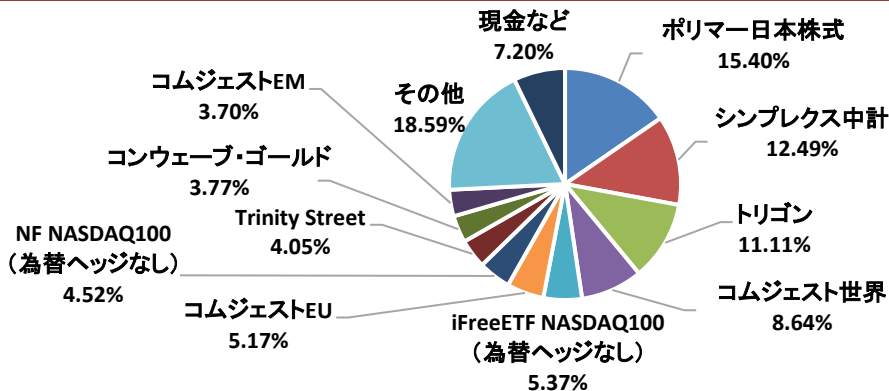
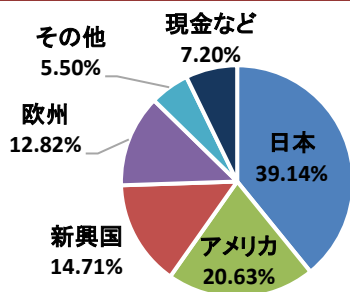


ポリマー日本株式	7.93%
シンプレクス中計	3.12%
トリゴン	1.10%
コムジェスト世界	-0.14%
iFreeETF NASDAQ100 (為替ヘッジなし)	10.85%

浪花おふくろファンド概況

基準価額	38,400円	設定日	2008年4月8日
純資産総額	2,315百万円	信託期間	無期限
ボラティリティ(1年)	10.27%	決算日	毎年3月3日 (休業日の場合は翌営業日)

資産構成比率(組入ファンド全18本)(左:国別、右:ファンド別)



期間別騰落率(%)

1ヵ月	3ヶ月	6ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年	設定来
2.88%	-1.27%	8.56%	5.17%	24.01%	48.47%	46.58%	136.95%	284.00%
					(複利年率) (14.10%)	(複利年率) (7.95%)	(複利年率) (9.01%)	(複利年率) (7.69%)

浪花おふくろファンドにかかわる費用

運用管理費用 (信託報酬) 年0.99%(税抜0.90%)
組入れ投資信託証券も含めた実質的な負担 年1.65±0.5%程度(税込)

コモファンド・浪花おふくろファンドにかかわる共通のその他費用・手数料

信託財産に関する租税、投資対象とする投資信託証券の売買に発生する売買委託手数料及びその手数料に対する消費税相当額等の費用、外貨建資産の保管等に要する費用は、お客さまの負担として、信託財産中から実費を負担します。

設定・運用・販売は株式会社バリミキアセットマネジメント/金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2727号

※比率は四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。

長寿企業の秘密

1. 量子の世界からみた私たち

突然ですが、少し不思議な話をさせてください。私たちの体を構成する原子の中は、99.99%以上が空洞だそうです。「え、じゃあ自分は何でできているの?」と思いますよね。実は、原子の中の電子同士が反発し合う力のおかげで、私たちは形を保っているのです。固体に見えても、本当は「力の場」が集まってできた存在。これが量子力学の世界で語られる「私たち」の姿です。

さらに驚くのは、すべての素粒子がビッグバンの瞬間に同じ起源を持つ、という話です。宇宙誕生のあの瞬間から、素粒子たちはさまざまな星や生き物、物質に形を変えながら今日まで旅を続けてきました。そして量子物理学には「量子情報は消えない」という考え方があります。人が亡くなっても、その人の思いや意志が生み出した「波動（情報）」は、宇宙という巨大な情報の海に溶け込み、消えることなく残り続けるというのです。

にわかには信じがたいかもしれませんが、でも、こう考えてみてください。何百年も前に亡くなった画家の絵を見て胸が震えたり、昔の文豪の小説を読んで涙が流れたりするのはなぜでしょう。それは、作品に刻み込まれたその人の「波動」に、私たちの心が今もなお共鳴しているからではないでしょうか。



2. 100年企業が絶えない日本

日本には創業100年を超える企業が約46,000社あり、これは世界全体の約半数を占めているといます。

量子力学的な視点でとらえると、長寿企業とは「創業者の強い思いという波動を、世代を超えて守り続けている器」と言えます。創業者が会社を興したとき、そこには強烈な志や理念がありました。その波動は、時代を経るごとに経営者から社員へ、社員からお客様へと伝わっていきます。そして後の世代がその精神に共鳴し、自分たちの情熱を重ね合わせることで、波動の力はさらに大きく増幅されていくのです。

老舗の暖簾をくぐったとき、他では感じられない独特の「空気感」を覚えたことはないでしょうか。あれは気のせいではありません。積み重なった人々の思いと行動が、目に見えない形でその場所に宿っているのです。伝統を守るとは、昔ながらのやり方をただ繰り返すことではなく、創業の精神という波動に共鳴し続け、そこに新しい世代の情熱を加えて磨き上げていくこと。それこそが、企業を長く続かせる本質なのかもしれません。

3. これからの経営に必要なもの

近年、ビジネスの世界で「アート思考」や「センス」が重視されるようになってきました。数字や効率だけでは、人の心を本当に動かすことができない時代になっているからです。データや戦略は経営の土台として欠かせませんが、そこに「共感」や「美意識」、「この会社の理念は本物だ」という確信が伴ってはじめて、人は心から動こうとするものです。

優れた感性を持った経営は、商品・サービス・空間・言葉遣い・ふるまいのすべてに、その企業ならではの「波動」を宿します。創業者の哲学が純度高く体現されるとき、それは時代を超えて人々の心に届く、強いメッセージになります。アートが言葉を超えて私たちの深いところへ届くように、企業の文化や美学もまた、論理を超えた共鳴を生み出すのです。

人体も企業も文化も、すべては宇宙という大きな「波動の織物」の一部です。誰かの志に感動し、その思いを受け継いでいくとき、その織物はより豊かに、より強く編み上げられていきます。長寿企業が世代を超えて愛され続ける理由は、きっとこの目に見えないつながりの力にあるのではないのでしょうか。



(株)パリミキホールディングス
代表取締役会長
多根 幹雄



浪花おふくろ20周年キャンペーンに寄せて

「世界でいちばんお客様を幸せにするファンドになりたい」という思いを胸に、私たちは創業いたしました。お客様お一人お一人の「幸せのカタチ」は同じではありませんが、私たちには、ご家族とともに穏やかに過ごされる姿が自然と目に浮かびます。

ファンド名称に「おふくろ」「コドモ」「ファミリー」といった言葉が含まれているのは、そうした情景の反映だったのかもしれませんが。

浪花おふくろ投信を継承した当社は、今年20周年を迎えることができました。20年前といえ、米国を発端とした世界金融危機の前夜で、金融システムに徐々に軋みが目立ち始めた頃です。浪花おふくろファンドも早い段階で、2007年秋からの世界株価の歴史的暴落に翻弄されることになりました。しかし、この影響で基準価額が大幅に低下したにもかかわらず、他社ファンドと異なり総資産が減少しませんでした。なぜでしょうか？行き過ぎた下落はいずれ修正されると考えた皆様が追加投資をして下さったからです。そして、そうした見方の正しさを証明するかのようになり、一時は6,158円（2009年3月11日）まで下がった基準価額は、執筆時点では38,400円台まで上昇しています。

20年の節目にあたり、運用体制をさらに強化し、資産の拡大にも取り組んでまいります。年齢的にも、投資された資金を活用されたい方が増えることを考えると、新たな「あいのり仲間」を増やすことが、ファンドをサステナブルなものにするために必要です。

記念の年の7月26日（日）に、創業の地「浪花」で大阪城公園内の天守閣が目の前という歴史的建造物でレセプションを開催します。会費制とはなりますが、多くの皆様のご参加をお待ちしています。「浪花おふくろファンド」のマスコット役としてもお馴染みのフクロウは、知恵と学問の象徴であり、幸運・福を呼ぶ存在であるとともに、夜行性であるため闇を見通す力があるとも言われています。不透明さが高まる国際情勢の下で頼りになる存在と言えるでしょう。

これまでの長年にわたるご投資に心より御礼申し上げます。今後とも変わらぬご愛顧と、キャンペーンへのご支援を賜れましたら幸甚です。



代表取締役社長 富田 秀夫



浪花おふくろ 20周年キャンペーンおよび祝賀レセプション

浪花おふくろ20周年という節目を迎えることができましたのは、長年にわたり当社ファンドをご愛顧いただいているお客様をはじめ、多くの関係者の皆さまのご支援とご協力の賜物です。

この感謝をお伝えするとともに、これからの歩みへの決意を新たにする機会として、20周年キャンペーンおよび祝賀レセプションを開催いたします。皆さまと直接お会いできることを、社員一同、心より楽しみにしております。

キャンペーンについて

皆さまの資産形成を応援

＼おふくろのメガネをモチーフにした特別デザイン／

キャンペーン期間中に**100万円以上**ご購入いただいた方に20周年記念オリジナルピンズを**プレゼント**いたします。

※すでに口座をお持ちの方もご紹介等で初めて購入される方も対象です。当社のすべての商品（公募ファンド）が対象となっております。

期間：2026年6月25日(木)～8月24日(月)

祝賀レセプション

日程：7月26日(日) 17:00～19:00 ※16:30開場



会場：THE LANDMARK SQUARE OSAKA

ご来場の際は**大阪駅15：50発の無料送迎シャトルバス**をご利用ください。
(会場まで徒歩2分)

※詳細はお申込み後に別途ご連絡いたします。

「谷町四丁目」駅9番出口から徒歩13分/「大阪城公園」駅から徒歩20分/
「森ノ宮駅」から徒歩15分

参加費用等について

参加費：1万円 定員：100名

レセプションのお申込みにつきましては、HPでご案内いたしております

「パリミキアセット運用報告会 2026春」を開催しました

5月23日(土)【大阪会場】、5月27日(水)【東京会場】にて「パリミキアセット運用報告会2026春」を開催いたしました。

これまでの運用成果や方針、4月以降直近の内容や今後の展望などについても詳しくお話しさせていただきました。多くのお客様にご参加いただき、誠にありがとうございました。またのご参加を、心よりお待ちしております。

< 運用報告会の様子 >



【大阪会場】

パリミキアメリカ村店



【東京会場】

東京スクエアガーデン 京橋環境ステーション

毎月つみたてサービスに関わるスケジュールについて

① 6月分購入日：6月17日（水）

② 7月分金額変更・中止・再開締切日：6月23日（火）

③ 8月分新規・口座変更締切日：7月1日（水）

④ 7月分引落日：7月6日（月）

2026年6月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17 ①	18	19	20
21	22	23 ②	24	25	26	27
28	29	30				

2026年7月

日	月	火	水	木	金	土
			1 ③	2	3	4
5	6 ④	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

※毎月つみたてサービスの金額変更・中止・再開については、お電話・マイページ上（再開を除く）でも承っております。再開につきましては、書類でのお手続きとなりますので、お電話・マイページ上・ホームページにて用紙をご請求ください。

変更手続きはお済ですか

総合取引約款に記載しておりますとおり、住所・連絡先や氏名等の変更手続きが未完了の場合、金銭の支払いや解約手続きを受付できません。また、住所変更をされ、居所の確認が取れないお客様とのお取引につきまして、取引制限をさせていただきます場合がございます。

ご不便をおかけすることになりますので、住所・連絡先や氏名等を変更された場合は、速やかに変更手続きをさせていただきますようお願い申し上げます。



株式会社パリミキアセットマネジメント お客様サポートチーム
 (受付時間：平日9:00～17:00)
 お客様専用通話料無料ダイヤル:0800-5000-968
 E-mail: support@pmam.co.jp

ファンドにかかわるリスク

当ファンドは、値動きのある国内外の株式等に投資する投資信託証券に投資しますので、基準価額はその影響を受け変動します。

投資信託は預貯金と異なり、投資元本が保証されているものではありません。投資による利益および損失は、すべて受益者（投資者）の皆様に帰属します。

基準価額の主な変動要因としては、価格変動リスク、信用リスク、流動性リスク、為替変動リスク、カントリーリスク等があります。リスクについての詳細は投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

ファンドにかかわる費用

当社が扱う投資信託に、購入・換金手数料および信託財産留保金はありません。

当資料のご利用にあたっての注意事項

- 当資料は株式会社パリミキアセットマネジメントが運用するファンドの運用状況をお知らせするために作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。取得の申込みにあたっては、投資信託説明書（交付目論見書）等をお渡ししますので必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。
- 当資料に記載された過去の実績は、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料中に示された意見等は、作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更されることがあります。
- 投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- 当社でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 当資料中に示された数値は、作成基準日現在において入手可能なデータを参照し、弊社にて計算しております。

PARIS MIKI ASSET MANAGEMENT